

持ち出し品の準備

非常時持ち出し品の食料品や乾電池等は、日頃からチェックしておき、持ち出し品は必要最小限にしましょう。「洪水ハザードマップ」は目立つ所に保管し、避難時に必ず持参しましょう。

避難時持ち出しリスト

避難時に必要な物を準備出来たか、チェックしましょう。



- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> ロープ | <input type="checkbox"/> 育児用品 |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 貴重品 | <input type="checkbox"/> ちり紙 | <input type="checkbox"/> ヘルメット |
| ＋予備乾電池 | <input type="checkbox"/> 救急セット | (ティッシュ、トイレットペーパー) | <input type="checkbox"/> 軍手 |
| <input type="checkbox"/> 非常食 | (常備薬) | <input type="checkbox"/> ドライシャンプー | <input type="checkbox"/> 携帯ナイフ |
| | <input type="checkbox"/> 衣類・下着類 | <input type="checkbox"/> ローソク | <input type="checkbox"/> 石鹸 |
| | | <input type="checkbox"/> マッチ | <input type="checkbox"/> 使い捨て食器 |
| | | <input type="checkbox"/> その他 | |



避難に備えて

正確な情報収集を

ラジオ・テレビ・インターネット等で最新の気象情報などに注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときには、役所や消防から避難の呼び掛けをすることがあります。防災無線や広報車などでの呼び掛けに注意し、速やかに避難して下さい。



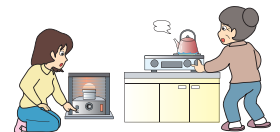
2人以上での避難を

避難するときは、動きやすい服装で、また、危険に見舞われる可能性があるため、1人での避難は避け、2人以上での行動を心がけましょう。



避難する前に

避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難所を確認しましょう。また親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



足元に注意

浸水した場所を歩くときは、長い棒や杖がわりにして、マンホールや側溝などがないか水面下の安全を確認しながら歩きましょう。



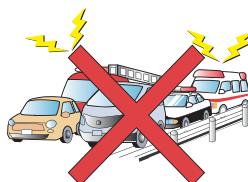
万一逃げ遅れた場合には

洪水の場合、歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmまでです。避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの建物の上層階に逃げ、救助を待ってください。



車での避難について

車での移動は緊急車両の通行の妨げになります。避難場所までの距離が遠い方や、援護を必要とされる方を伴って避難する場合など特別な場合を除き車での避難は避けましょう。



高齢者や体の不自由な方などの避難に協力を

お年寄りや体の不自由な人、子供などは早めの避難が必要です。ご近所で声をかけ、避難が困難な方々の避難に協力しましょう。

